

くすりのしおり

内服剤

2020年08月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：イリボー錠 2.5 μ g

主成分：ラモセトロン塩酸塩 (Ramosetron hydrochloride)

剤形：淡黄色の錠剤、直径 5.6mm、厚さ 3.0mm

シート記載：(表) イリボー2.5 μ g、アステラス製薬、社マーク、(裏) Irribow 2.5、
下痢型過敏性腸症候群治療剤、イリボー2.5、社マーク、イリボー 2.5
 μ g



この薬の作用と効果について

遠心性神経のセロトニン 5-HT₃ 受容体に拮抗することによって下痢を改善し、求心性神経のセロトニン 5-HT₃ 受容体に拮抗することによって腹痛を改善します。
通常、下痢型過敏性腸症候群の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。腹部手術歴がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
 - ・男性：通常、成人男性は1回2錠（主成分として5 μ g）を1日1回服用します。症状により適宜増減されますが、1日最高服用量は4錠（10 μ g）までとされています。
 - ・女性：通常、成人女性は1回1錠（主成分として2.5 μ g）を1日1回服用します。効果不十分の場合には増量されますが、1日最高服用量は2錠（5 μ g）までとされています。
- いずれの場合も、必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついたときにできるだけ早く飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が近い場合には、忘れた分は飲まないで1回分とばしてください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
 - ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
 - ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、便秘、硬便などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。また、3日以上連続して排便のない場合には一旦服用を中断し、その後の服用方法は担当の医師または薬剤師に相談してください。特に、女性では男性に比べて便秘、硬便があらわれやすいため注意してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・顔面蒼白、冷汗、立ちくらみ [ショック、アナフィラキシー]
- ・急激な腹痛、血便、発熱 [虚血性大腸炎]
- ・便が出ない、便秘 [重篤な便秘]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。